

平成28年3月18日

保護者各位

岡山県立岡山東支援学校
校長 黒山靖弘

平成27年度学校評価アンケートの集計結果について

早春の候、保護者の皆様には、本校教育推進のために、いつも変わらぬ温かなご理解とご支援をいただき、大変感謝いたしております。

さて、先般実施しました学校評価アンケートにつきましては、ご多用の中、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

アンケートの結果については、別紙のとおりです。

昨年度と単純に比較はできませんが、おおむねよい評価をいただきました。本校の教育について、保護者の皆様がどのように捉えてくださっているのかを検証し、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が低い項目については改善を行い、高い項目については継続して取組んでいきたいと考えております。

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見をこれからの学校経営に生かしていきたいと考えております。今後とも、忌憚のないご意見をお寄せいただき、本校教育の充実にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

本年度は、この集計結果を本校のホームページにも掲載します。

<http://www.higasisien.okayama-c.ed.jp/>

こちらもお覧ください。

1 アンケートの集計結果（保護者）

(1) 全般的に、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の評価をいただきました。90%以上のプラスの評価は、17問中16問（94%）＜昨年度100%＞でした。

(2) 相対的に評価が低い項目は、次のとおりです。

（マイナス評価＝「あまりそう思わない」「そう思わない」の計）

(9)特別支援学校のセンター的機能 … プラス評価83%/マイナス評価14%

(11)進路指導での情報提供と相談活動 … プラス評価90%/マイナス評価9%

(3) 「(9)特別支援学校のセンター的機能」については、一昨年度はプラス評価83%、昨年度は、プラス評価90%でした。他校の状況などを見ても、この項目は保護者アンケートにおいて相対的に低水準となる場合が多く、無回答が4名（全項目中最多）であることとも合わせて、保護者の方にその取組が見えづらい状況があると考えられます。改善策として、校内外の支援や地域における特別支援教育のセンター的機能に係る情報発信なども必要でしょうが、一方で、エリア会等の先進的な取組を継続し、地域の学校園から多数の参加を得ている本校の状況から考えても、そもそも評価の材料としてのアンケートの対象が、そうした研修会の参加者ではなく保護者の方であるという点が不都合なのではないかと思われます。今後は、アンケートの方法を工夫していきます。

また、「(11)進路指導での情報提供と相談活動」についても、実施年度によっては同様の傾向が見られる場合があります。進路に係る取組は専ら高等部のみのものではなく、その軽重、深浅は当然あるものの、小学部段階からの継続と積み上げが求められることを保護者の方に伝え、同時に教員の意識も変えていく努力は必要であると考えます。

(4) 「(6)個別の教育支援計画を、学校・家庭・医療・福祉等の連携のためのツールとして活用している」についての評価は、昨年度に続いて最も低く（マイナス評価41%）、保護者アンケートで記述による回答を求めたところ、「放課後デイサービス、日中一時支援を利用する際に、家での様子、学校での様子を伝えている」「主治医にも伝えている」などの積極的な回答が見られる一方、「活用する機会がない」「活用しなくても困っていない」さらには「デイサービスごとに用紙があるので、面倒だがそちらに記入して契約の際提出している」といったご意見もあり、今後の取組の端緒が示唆されたかたちとなりました。

2 今後の取組

- 児童生徒の可能性を追求し、自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援します。
- 健康で安全な生活ができるよう学習環境を整え、人権やプライバシーを尊重します。
- 保護者の方や地域などと個別の教育支援計画等をツールとして連携します。また、そのために必要な教職員の専門性の向上を支援します。
- 特別支援学校や各機関と連携し、特別支援教育のセンター的機能を発揮します。

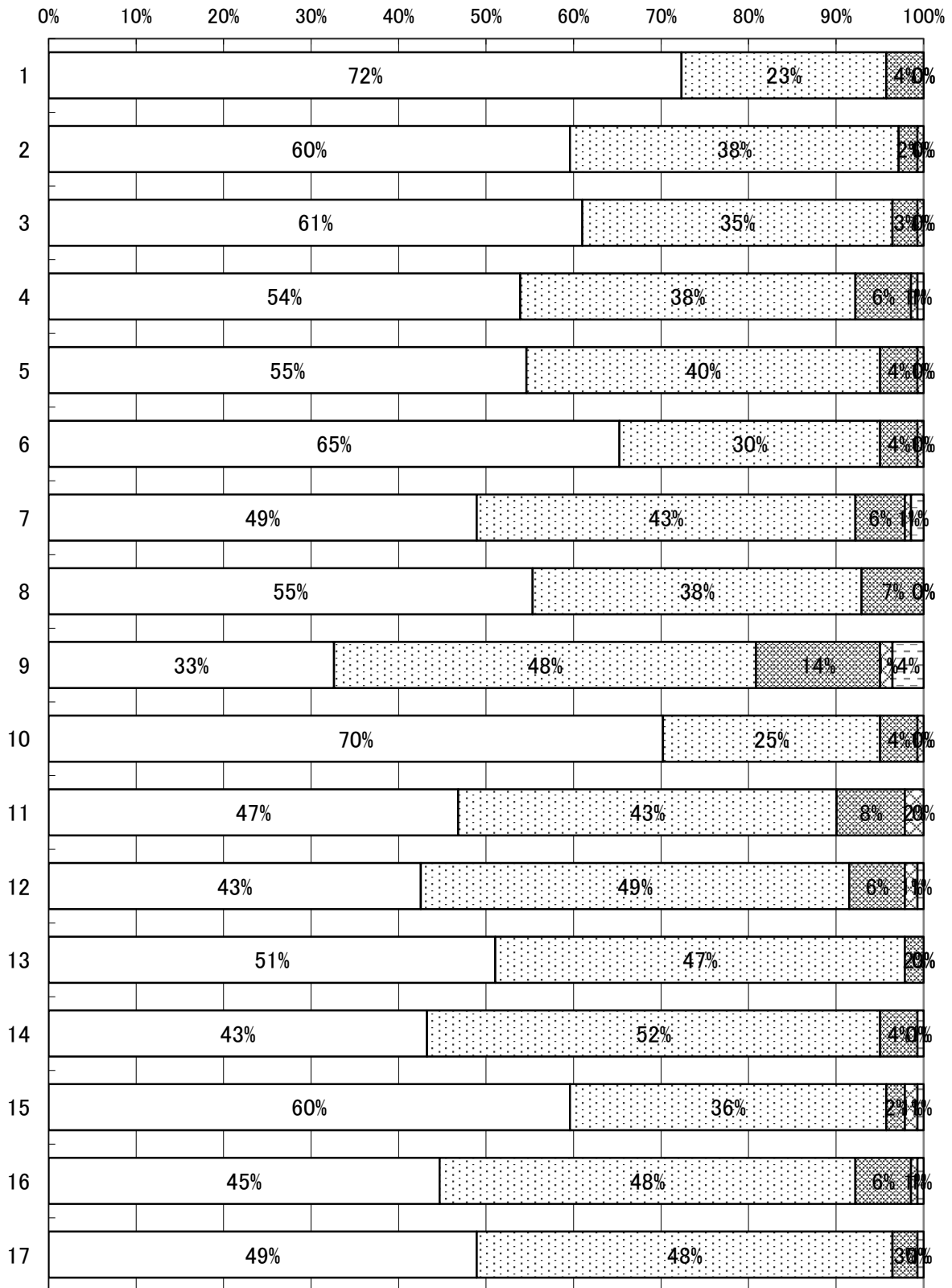
平成27年度 学校自己評価(保護者の方の回答) 全体集計版

ア：そう思う イ：だいたいそう思う ウ：あまりそう思わない エ：そう思わない

番号	評価項目	ア	イ	ウ	エ	無
1	子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	102	33	6	0	0
2	先生は、子どもの人権を尊重し、一人一人を大切にした教育をしている。	84	53	3	1	0
3	子どもの教育について、先生と個別懇談などで十分に話し合いができています。	86	50	4	1	0
4	学校は、小・中・高・卒業後まで見通した教育活動を行っている。	76	54	9	1	1
5	先生は、教材教具の工夫などにより、子どもにわかりやすい授業づくりをしている。	77	57	6	1	0
6	通知表には、支援方法や学習の成果がわかりやすく記述されている。	92	42	6	1	0
7	先生は、特別支援学校の教師として専門的な立場から子どもを指導している。	69	61	8	1	2
8	先生は、保護者の相談に対して適切な対応や支援をしている。	78	53	10	0	0
9	学校は、特別支援学校のセンター的機能を発揮し、地域の障害のある児童生徒（地域の小・中学校等）の支援に努めている。	46	68	20	2	5
10	先生は、学校での日々の様子を、懇談や通信・連絡帳などで知らせている。	99	35	6	1	0
11	学校は、子どものニーズに応じた進路に関わる情報を提供し、相談活動を行っている。	66	61	11	3	0
12	学校は、医療・福祉機関などの情報を保護者と共有しながら、教育活動を行っている。	60	69	9	2	1
13	学校は、保護者や地域の人たちが参観しやすいように、授業や行事の日程を計画している。	72	66	3	0	0
14	学校は、各種たよりやホームページなどで、学校の教育方針や具体的な活動をわかりやすく伝えている。	61	73	6	0	1
15	学校は、子どもの健康状態を把握し、学校でのけがや体調の変化についての情報を的確に知らせている。	84	51	3	2	1
16	学校の施設・設備は、教育活動を行う上で充実したものになっている。	63	67	9	1	1
17	学校は、災害（台風・地震・火災など）・不審者・感染症の流行に対して適切に対応している。	69	67	4	0	1

H27 学校自己評価 保護者 全体

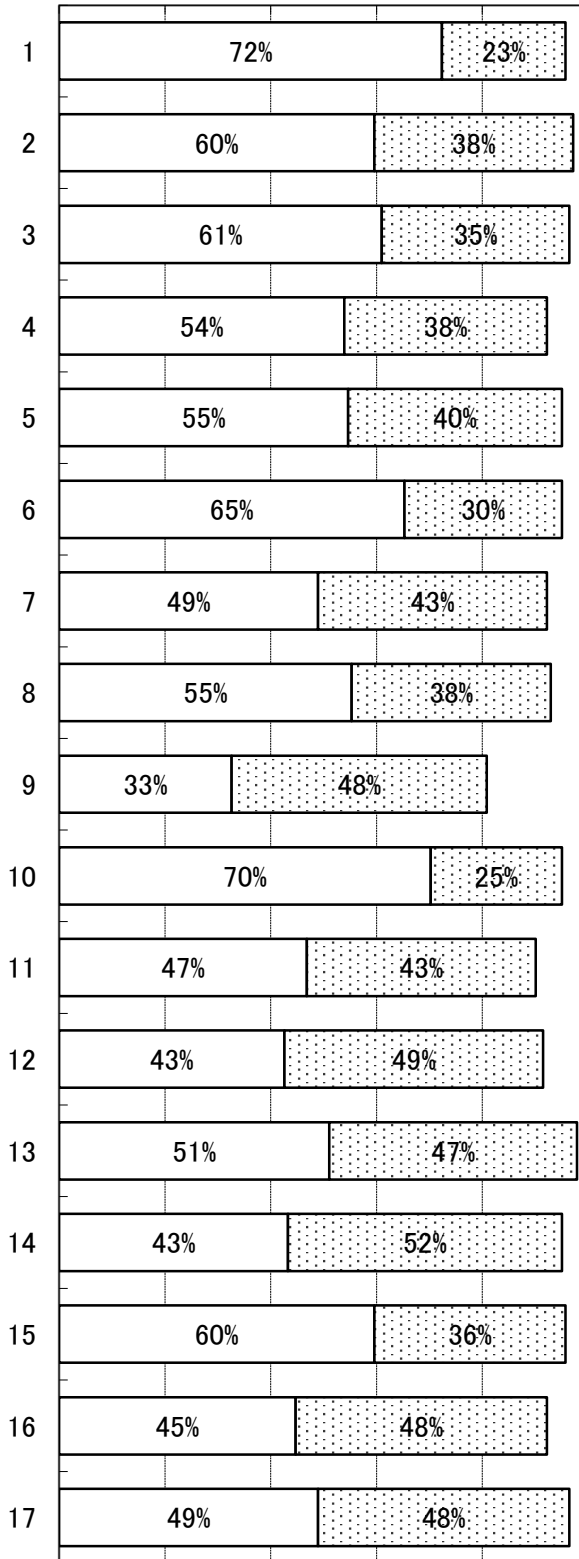
□ そう思う □ だいたいそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ 無回答



プラス評価

□ そう思う □ だいたいそう思う

0% 20% 40% 60% 80% 100%



マイナス評価

■ あまりそう思わない □ そう思わない

0% 15% 30%

